

授業科目

外傷救急医学II

担当教員名 鈴木 力	対象学年	3	対象学科	救急
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	○	

授業の概要

外傷は時間経過によって予後が左右されることが少なくないため、救急現場における観察・評価・処置・病院選定・搬送などの活動において、特に思考速度が求められる。そのためには、外傷の受傷機転／発生機序、病態生理、症状と所見、予後等についての理解に基づいた観察・評価、鑑別を行い、処置および搬送に結びつけることが重要となる。

本科目では、胸部外傷、腹部外傷、皮膚・軟部組織外傷、熱傷、化学損傷、その他特殊な外傷について学習する。

授業の目的

1. 胸部外傷、腹部外傷、皮膚・軟部組織外傷、熱傷、化学損傷、その他特殊な外傷について、それぞれの受傷機転／発生機序、病態生理、症状と所見、予後等について理解し、それに基づいた観察・評価、鑑別を行い、処置および搬送に結びつけるまでの基本的な知識を修得する。

学習目標

1. 胸部外傷、腹部外傷、皮膚・軟部組織外傷、熱傷、化学損傷、その他特殊な外傷について、それぞれの受傷機転／発生機序、病態生理、症状と所見、予後等について理解し、それに基づいた観察・評価、鑑別を行い、処置および搬送に結びつけるまでの基本的な知識を修得する。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	胸部外傷（1）	講義	鈴木 力
2	胸部外傷（2）	講義	鈴木 力
3	腹部外傷（1）	講義	鈴木 力
4	腹部外傷（2）	講義	鈴木 力
5	皮膚・軟部組織外傷	講義	鈴木 力
6	熱傷（1）	講義	鈴木 力
7	熱傷（2）	講義	鈴木 力
8	化学損傷（1）	講義	鈴木 力
9	化学損傷（2）	講義	鈴木 力
10	電撃傷・雷撃傷（1）	講義	鈴木 力
11	電撃傷・雷撃傷（2）	講義	鈴木 力
12	縊頸・絞頸	講義	鈴木 力
13	刺咬症（傷）（1）	講義	鈴木 力
14	刺咬症（傷）（2）	講義	鈴木 力
15	まとめ	講義	鈴木 力

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	改訂第9版 救急救命士標準テキスト 下巻	救急救命士標準テキスト編集委員会	へるす出版	2015年	9,800円+税	1年次購入済
参考書						
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。					

評価方法

科目試験（100%）

不合格者に対しては、1回再試験を行う。
必要な場合、レポートを課し、その結果も評価対象とする。

履修上の留意点

本科目では、基本的事項を効率よく理解するために、指定の教科書を使用する。
授業前に教科書を熟読しておくこと。授業中は、講義内容を理解し、重要な事項はその場で頭に入るように配慮した講義を行うので、ノートはとらず、メモ程度にして考えるゆとりを作る。授業後の復習も必須である。

オフィスアワー・連絡先

水曜日12時～13時。その他、連絡していただければ、適宜時間を調整します。
E-mail : tsutomu-suzuki@nuhw.ac.jp